

アクションプラン1																	
重点項目	【知】学習指導																
重点課題	授業の終末の工夫と自己評価カードの活用による家庭学習の習慣化と内容の充実																
年度当初の状況	昨年度、月1回の家庭学習確認週間を実施したことにより、家庭での学習時間がある程度確保されるようになった。目標を達成した児童の割合は、5月に73.1%だったものが1月には89.4%となった。自主学習に対しては、進んで取り組む児童とあまり意欲的ではない児童の差が見られる。学習時間の確保とともに、自主学習を含めた家庭学習の内容の質を高めることを目指したい。																
達成目標	<p>① 各学年で設定した家庭学習の目当ての時間（10分×学年）を、1週間で5日以上達成した児童の割合が90%以上になることを目指す。</p> <p>② 家庭学習の内容の質を高めるよう、授業の終末の5分間を「成果の確認」と「授業と家庭学習の連動」に関する時間とし、毎時間実施する。（指導者の自己評価A・Bの割合が90%以上になることを目指す）</p>																
これまでの取組と達成度	<p>〈方策〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小教研後期学力調査の結果を校内でまとめ、県から公表される各設問ごとの正答率・誤答率・無解答率等の調査結果を参考にしながら指導の改善に生かす。</li> <li>・家庭学習時間をグラフ化してこれまでの取組を見直し、子供一人一人への励ましを行うとともに、さらなる家庭学習の充実を図る。</li> <li>・発達段階に応じた家庭学習となるように、家庭学習の質（内容・集中・計画）において指導の充実を図る。</li> <li>・めあてに対応した振り返りとなるよう、もう一度共通理解を図る。</li> <li>・学習の振り返りの場面で、どのようなまとめ方をするかは各授業者に任されている部分が多い。その部分を校内研修のテーマとして取り上げ、共通理解を図り研修を深めていく。</li> <li>・成果の確認の場面で、条件を与えて書くことやねらいに即して書くことなど、書く活動を重視する。</li> </ul> <p>〈達成度〉</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>92.6%</td> <td>88.2%</td> <td>91.0%</td> <td>85.3%</td> <td>92.5%</td> <td>97.0%</td> <td>92.5%</td> <td>92.6%</td> </tr> </tbody> </table> <p>① ほとんどの月で90%以上を達成することができた。</p> <p>② 指導者8人中、A・Bと評価したのは、1学期は7人で87.5%、2学期は8人で100%であった。</p>	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	92.6%	88.2%	91.0%	85.3%	92.5%	97.0%	92.5%	92.6%
5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月										
92.6%	88.2%	91.0%	85.3%	92.5%	97.0%	92.5%	92.6%										
評価	<p>B</p> <p>①については、ほぼ90%を達成しており、評価はAである。②については、90%以上を達成したが、振り返りの時間のあり方に課題が見られる。</p>																
外部評価者の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子供たちは、学年に見合った学習時間を確保している。</li> <li>・授業参観等を通してみると、子供たちは成長しており、相手に伝えようとする表現力が高まっている。</li> </ul>																
次年度に向けての課題	<p>① 1週間で5日以上達成を目当てにしたが、ある程度習慣化されてきたので次年度は6日以上達成を目指す。</p> <p>② めあてとまとめを板書に位置づけることは定着しつつある。授業の振り返りをうまく家庭学習に連動させるための研修が必要である。</p>																

(評価基準 A：達成した B：ほぼ達成した C：現状維持 D：現状より悪化)

